

鳥海イヌワシみらい館通信

Vol. 3 2012 夏号

発行: 猛禽類保護センター (愛称・鳥海イヌワシみらい館)

〒999-8207 山形県酒田市草津湯ノ台 71-1 TEL 0234-64-4681 FAX 0234-64-4683

<http://www.raptor-c.com> E-Mail: moukin@raptor-c.com



「キツネ」 撮影: アクティングレンジャー長船裕紀

山形県の母なる川「最上川」には多くの生物が生息しています。特に河口付近は鳥獣保護区（鳥海南麓自然保護管事務所管轄）にも指定されており、オオタカなどをはじめとする猛禽類はもちろんのこと、冬には多くのハクチョウ類やガンカモ類などの水鳥が飛来することでも知られています。

6月4日にワシタカ観察会の会場下見をしておりますと、最上川河川敷にひょっこりと現れた珍客「キツネ」。鳥海イヌワシみらい館周辺には冬になると足跡も残りますし、夏でも鳥海山の登山道で見かけることもあります。普段は見かけない場所での出会いにちょっと驚きました。

(本間)



～バードウォッチングへの誘い～ 第3回 ♪夏がく～れば・・・ほら、そこにワシ・タカ!



さあいよいよ待ちに待った夏の到来です。夏休みは海へ魚釣りや海水浴、山へ登山やトレッキングなど忙しく出かける計画の人もあるのでは? そんなレジャーで訪れた先でも、ふと見上げればワシタカの仲間達があなたを迎えてくれるかも。おっと、足下にも気をつけないと転んでしまいますよ! (イラスト: 本間憲一)

山や森で出会えるワシタカ

「イヌワシ」

翼を広げた大きさ: 220cm
比較的高い山に生息する大型のワシです。大きな翼で風を操り悠然と空を飛ぶ様から「風の精」とも呼ばれます。



「クマタカ」

翼を広げた大きさ: 170cm
「森の王者」の異名を持つタカ。力強い飛翔、立ち姿からはまさしく王者の風格が漂います。



海や水辺で出会えるワシタカ

「ミサゴ」

翼を広げた大きさ: 160cm
魚食性のワシタカの仲間。魚を捕まえやすくするため、特殊な構造の足を持っています。ダムや海岸近くに生息しています。

「ハヤブサ」

翼を広げた大きさ: 130cm
獲物となるヒヨドリなどの小鳥が通る海辺の崖に生息しています。その他、山や河川の崖、近年ではビル街などで繁殖する個体も確認されています。



イヌワシってどんなワシ? ② 「イヌワシの巣」

ここ猛禽類保護センターには「鳥海イヌワシみらい館」という愛称がついていますが、イヌワシってなに? と思う人や図鑑でしかイヌワシを見たこともない人もいるかもしれません。そこでシリーズ 2 回目はイヌワシの「巣」について紹介します。

館内のシアタースクリーンの中にはイヌワシの営巣地を再現したジオラマがあります。実はこれ本物のイヌワシの巣なんです。中には実際にイヌワシがとらえて食べた「ウサギ」の頭骨、背骨や「ヤマドリ」の羽などが散らばっていて、リアルな生活の様子を間近に見ることができます。ほとんどのイヌワシのペアは毎年同じ巣を利用しており、晩秋の造巣期になると、決まって巣材を運び入れるものですから、年を経るごとに巣が大きくなっていきます。最終的には直径 2m 厚さ 1m にもなるとか……。注目していただきたいのは巣材の一部に使われている針葉樹の青葉。このイヌワシの巣にはマツの葉が入っているのですが、マツには「テルペン」という抗菌成分があり、これを利用してフンや食べ残しで汚れがちな巣の中を清潔に保っていると考えられています。おばあちゃんの知恵袋的な物が鳥の世界にもあるんですね。





イヌワシが見られる動物園②「仙台市八木山動物公園」



イヌワシを見てみたいけれど野生のイヌワシに出会うことはなかなかむずかしいものです。近くでイヌワシを見てみたい人や、確実にイヌワシの姿を見てみたい人は、動物園に行ってみましょう。第2回目は山形県のお隣、宮城県仙台市の「八木山動物公園」です。鳥班 今野仁主任へ伺ってみました。

Q. 八木山動物公園ではいつからイヌワシを飼育しているのですか。

「1972 年から飼育を開始し、現在は『^{おきな}翁』23 歳^{ふくい}♂と『福井』11 歳♀の2羽を飼育しています。」

Q. イヌワシのエサは何ですか。

「種類はラットと鶏頭です。量はラットの場合1匹、鶏頭の場合10コです。これらを毎日、交互に与えています。」

Q. イヌワシの健康管理で気を遣っていることなどありましたらお願いします。

「エサの食べ方や動作を観察しています。観察の積み重ねで、異変が起こったときすぐ把握できます。」

Q. 八木山動物公園でのイヌワシ飼育展示の特徴などあれば教えてください。

「より自然に近い環境で飼育しています。」



Q. 飼育で苦労されていることは何ですか。

「展示しながらの飼育は難しいです。ここ数年、産卵と抱卵をしますが無精卵です。」

Q. 来場される方に一言お願いします。

「野生では、滅多に出会えないイヌワシに間近に出会うことができます。イヌワシの迫力をじっくりと観察して下さい。」

仙台市八木山動物公園はイヌワシ以外の猛禽類も多く、ワシタカファンには嬉しい動物園です。イヌワシの飼育舎は広いスペースを確保しており、運が良ければ大きな翼を広げて飛翔するイヌワシの姿を間近に見ることができます。飼育している（福井♀）は「日本イヌワシ研究会」の小澤俊樹会長曰く「彼女の母親は今まで私が見たワシの中で1番美人であった！従って、彼女もその血を受け継いでいるので結構美人ですよ！」とのこと！東日本大震災では、ライフラインが停止するなどの危機に見舞われましたが、動物たちの命をつなげようと奮闘した職員の努力によって難局を乗り越えることができました。イヌワシはもちろんですが、その他の動物たちにも是非会いに行ってみてください。

仙台市 八木山動物公園

〒982-0801 仙台市太白区八木山本町 1-43

TEL 022-229-0631

開園時間：午前9時～午後4時45分

（ただし入園は午後4時まで）

入園料：大人400円 小・中学生100円

未就学児無料

駐車料金：400円



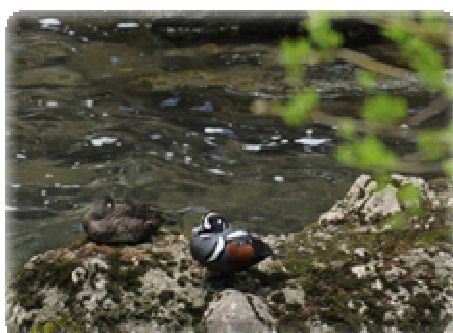
地域のいきもの情報ボード

センター周辺の鳥海南麓、庄内地域でも様々ないきものに出会いました。この3ヶ月の間（Vol.2 発行以降）でも春や夏の訪れを象徴するギフチョウやウスバシロチョウなどの昆虫やオオルリやキビタキなどの小鳥の他、サシバやハチクマなどの猛禽類が観察できました。

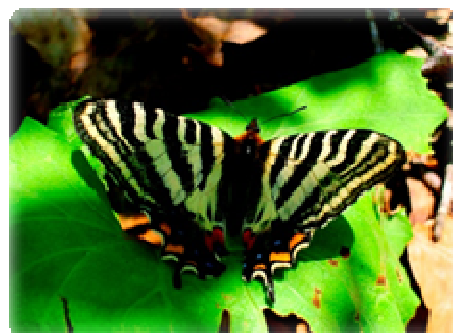
「地域のいきもの情報ボード」とは、センター入り口正面に設置された専用ホワイトボードにセンター職員や来館者から寄せられたいきもの情報を集めたものです。どなたでもご自由にプリントして、貼り付けることができますので、是非ご来館の際は情報をお寄せ下さい。



5月13日 オオルリ
日向川上流の林道にて



5月13日 シノリガモのペア
日向川上流にて



5月20日 ギフチョウ
荒瀬川上流にて



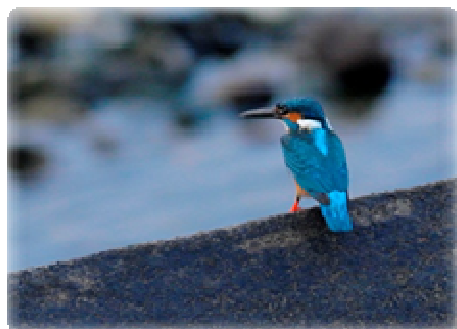
5月20日 クマタカ
旧八幡町付近にて



5月27日 ハヤブサ
遊佐町北目の水田地帯の鉄塔



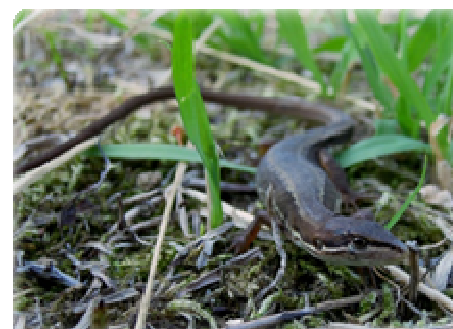
6月6日 アカガネサルハムシ
センター脇の登山道にて



6月11日 カワセミ
ゆりんこ前の荒瀬川の魚道にて



7月8日 サシバ
月光川沿いの水田上空にて



7月10日 カナヘビ
センター駐車場にて



アクティंगレンジャー長船が切る！！！！

先日チョウゲンボウの羽根をむしりました。現在、羽根標本を作製中です。今回は作製中の様子を紹介します。



野外で拾われ、センターに収容された試料の右翼部分。

拡大すると・・・

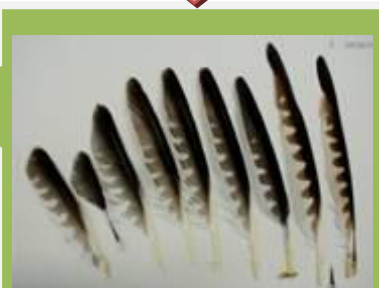


チョウゲンボウの（♂成鳥）
長元坊
英名：Common Kestrel
学名：Falco tinnunculus
タカ目ハヤブサ科

これを丁寧にむしって並べると・・・



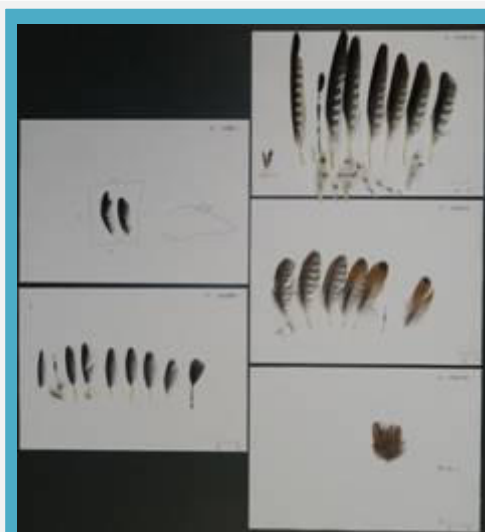
左翼



左翼の初列風切



尾羽



右翼

これらをキレイに額に入れて展示できればな・・・と。。。

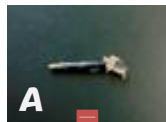
● 換羽について

換羽とは羽毛の機能が失われないように、古くなった羽毛が周期的に生え替わることをいいます。羽根をむしっていると、実に面白いもので1枚1枚の羽根を観察すると、換羽の進行の様子が見えてきます。

Aは羽軸が出始めで、先が破れていない

Bは先が破れ筆毛が出現したが、ほとんど羽鞘に包まれている

Cは不完全ではあるが羽先の形がわかるくらい筆毛の伸長が進行



A



B



C

羽の各部名称



チョウゲンボウ左翼初列風切 P9

◆イベント開催報告◆

★2012 新宿御苑みどりフェスタに出展しました。

4月29日（祝）「昭和の日」に新宿御苑にて開催された「みどりフェスタ」に鳥海イヌワシみらい館として初めて出展しました。当館のマスコットキャラクター「ワッシーくん」もステージに出演し、会場を盛り上げました。また展示ブースにも多くの人が訪れ、イヌワシの生態を理解してもらうことができました。

（写真：新宿御苑にてこども達とふれあうワッシーくん）



★「蜜ろうそくを作ってハチクマの秘密を知ろう！」を開催しました。

5月3日～6日はハチの恩恵を受ける私たちと、ハチを主な食べ物にしている「ハチクマ」に関連するクイズをしながら、楽しく蜜ろうそくを作りました。「ハチクマ」という鳥を初めて知ったこども達もいて、ワシタカの仲間や環境に興味を持ってくれたようです。（写真：蜜ろうそく作り）



★ワシタカ観察会「春の渡りを見よう！」を開催しました。

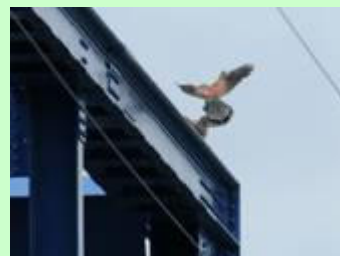
5月27日（日）に鳥海山鉾立にて「春の渡り」を見る観察会を開催しました。講師は「猛禽類保護ネットワーク」の伊藤智樹氏。この日観察できた渡るワシタカ類は「ハチクマ」1羽のみでしたが、今年もはるばる海を越えて渡ってきている事を知って頂くことができました。

（写真「ハチクマ」撮影：アクティंगレンジャー長船裕紀）



★ワシタカ観察会「ワシ・タカ入門」を開催しました。

6月27日（日）に初心者向けの観察会を開催しました。講師は「野鳥の会やまがた」代表の築川堅治氏と、「緑の玉手箱」会長の齋藤利孝氏。双眼鏡の使い方講座の後、河川敷で「チョウゲンボウ」や「ハヤブサ」を観察し、午後からは里の神社にて森林に生息するワシタカを観察しました。「サシバ」が何度も飛んでくれましたが、「クマタカ」が出現すると参加者も興奮して双眼鏡を向けていました。トビ以外のワシタカも、身近な環境に生息していることを知って頂くことができました。（写真「チョウゲンボウ」撮影：アクティंगレンジャー長船裕紀）



☆鳥海山 開山しました！☆

鳥海山も本格的な登山シーズンを迎えました。9月までの短い期間ですが、湯ノ台口、滝の小屋口、吹浦口、鉾立口などから登山可能です。鳥海山の標高は2236m。登山道は整備されていますが、急勾配や雪渓もありますので、トレッキングポールやアイゼン、雨具などしっかりとした装備が必要です。見所はイヌワシはもちろんのこと、チョウカイアザミやチョウカIFSマ、ニッコウキスゲなど豊富な高山植物も楽しめます。登山をした帰りには是非、鳥海高原にて温泉につかったり「鳥海イヌワシみらい館」にもお立ち寄り下さい！※鳥海山山頂付近は鳥海国定公園の特別保護地区になっています。特別保護地区内での動植物の採取等は禁止されています。

（写真：チョウカイアザミ）



◆イベント情報コーナー◆

自然観察会「ワシタカスクール」

森の中を探検しながらバードウォッチングやゲームをします。クマタカの巣作りにも挑戦!

期 日：平成 24 年 7 月 22 日 (日)

時 間：9:00～15:00

集合場所：鳥海イヌワシみらい館

活動場所：鳥海高原家族旅行村

対 象：小学生とその保護者

定 員：先着 20 名

持ち物：双眼鏡（貸し出し可）、雨具、昼食、飲み物、記録用具

服 装：長袖、長ズボン、帽子など野外活動に適した服装

講 師：高橋誠氏（イヌワシの森倶楽部代表）

参加費：一人 200 円（保険料）

お申込み締切：7 月 19 日（木）17：00 まで

お申し込み・お問い合わせ：

鳥海イヌワシみらい館

TEL 0234-64-4681

moukin@raptor-c.com



ワシタカ観察会「秋の渡りを見よう！」

冬を前に、海を越えて南の国へ渡っていくワシタカの仲間達を観察します。

期 日：平成 24 年 9 月 16 日 (日)

時 間：9:00～15:00

集合場所：酒田市役所

観察場所：秋田県にかほ市 鳥海山鉾立（予定）

対 象：小学生以上

定 員：先着 15 名

持ち物：双眼鏡（貸し出し可）、雨具、昼食、飲み物、記録用具

服 装：長袖、長ズボン、帽子など野外活動に適した服装。

講 師：伊藤智樹氏（猛禽類保護ネットワーク）

参加費：一人 200 円（保険料）

お申込み期間：8 月 15 日～ 9 月 13 日 17：00 まで

お申し込み・お問い合わせ：

鳥海イヌワシみらい館

TEL 0234-64-4681

moukin@raptor-c.com



「夏休み特別体験プログラム」

期間：7 月 23 日（月）～8 月 19 日（日）

時間：午前中の部 9：00～11：30 午後の部 13：00～15：30

内容：A「蜜ろうそく作り」参加費 400 円 B「登山道散策」参加費 200 円
C「ペーパークラフト」参加無料 D「エコバッグ作り」参加費 200 円
E「鳥海山を作ろう」参加費 300 円

上記A～Eの体験イベントを期間中日替わりで毎日開催します。（Bの登山道散策は午前中のみです。

午後の部、雨天時は他の室内プログラムとなります。）

定員：当日受付 午前午後各 10 名



日	月	火	水	木	金	土
7月22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日
ワシタカスクール	A蜜ろうそく作り	B登山道散策	Cペーパークラフト	Dエコバッグ作り	E鳥海山を作ろう	A
29日	30日	31日	8月1日	2日	3日	4日
B	C	D	E	A	B	A
5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日
D	E	A	B	C	D	E
12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日
A	B	A	D	E	C	B
19日						
A						



◆◆◆◆アクティブレンジャー写真展開催のお知らせ◆◆◆◆

東北を舞台に活躍するアクティブレンジャー達が撮影した写真展を開催します。



第1弾テーマ：「ひかり」
 期 日：7月1日(日)～8月31日(金)
 時 間：9:00～16:30
 会 場：鳥海イヌワシみらい館特設会場



第2弾テーマ：「天然色」
 期 日：9月1日(土)～10月31日(水)
 時 間：9:00～16:30
 会 場：鳥海イヌワシみらい館特設会場

同時開催！「ハヤブサの素顔」

鳥海南麓自然保護事務所アクティグレングレンジャー
 長船裕紀氏の貴重な猛禽類写真を展示中



あしがき&施設情報



Illustrated by Masami Tsuno
 ©鳥海イヌワシみらい館

事務局

青い空と緑に包まれ、さわやかな風を受け、野鳥のさえずりを聴きながら仕事をしてます。最高の季節です♪(村)

NEW自然保護専門員(アクティグレングレンジャー)

5月に着任しました、長船裕紀(おさふねゆうき)と申します。これまでは民間の会社にて自然環境調査の仕事をしておりました。魚類・両生類・は虫類・鳥類・哺乳類など色々やっておりましたが、今では濃厚な猛禽類生活を送っております。猛禽類のみならず広い視野で自然環境を見つめ、人間と共に猛禽類が安心して暮らせる環境を築く架け橋の役になれるよう頑張ります。地域の皆様、鳥類のプロ・アマ問わず、多くの方の力をお借りしたいと思っております。よろしくお願い致します。

環境省 鳥海南麓自然保護官

着任から早3ヶ月。雪で一面真っ白だったセンター周辺も、今はすっかり濃い緑に包まれています。猛禽類のヒナも巣立つ時期でしょうか。鳥海山の湯ノ台口も開山しました。皆さんもぜひお越し下さい。(水)

普及啓発担当

今年の観察会は順調です。天候にも恵まれ、鳥も出てくれて文句のつけようがないくらいです。ぜひ皆さんもご参加下さい。ブログもやってます。そちらも是非チェックしてくださいね!(本)

◆鳥海イヌワシみらい館 1月からの開館情報

開館時間・・・9:00～16:30
 お休み・・・なし
 入館料・・・無料
 臨時休館の際はホームページにてお知らせ致します

〒999-8207
 山形県酒田市草津湯ノ台71-1
 TEL 0234-64-4681
 FAX 0234-64-4683

